

阿蘇山宣言

佐藤 義興（火山砂防フォーラム委員長 阿蘇市長）



【古川】 それでは、ただいまより、先ほどのパネルディスカッションの中でも発表がありました、「2015 火山砂防フォーラム 阿蘇宣言」の案文の発表の準備をさせていただきます。



それでは、先ほどのパネルディスカッションの内容を踏まえ、これより「2015 火山砂防フォーラム 阿蘇宣言」案文を、阿蘇市町・佐藤義興より発表させていただきます。

【佐藤】 今日、開催地として本当に感謝を申し上げます。

こんなにあくさんの方においでいただき、今回のフォーラムについての重要性をお互いに共有ができたこと、すごく幸せであります。

そんなことを思いながら、今日のパネルディスカッションで、最後、ご提案をさせていただきました、阿蘇山宣言というものをここで読み上げをさせていただきます、皆さま方のご賛同をいただければと思っております。では、読ませていただきます。

『火山防災フォーラム阿蘇山宣言』

火山砂防フォーラム委員会は「火山を知り、火山とともに生きる。阿蘇ジオパークの防災を考える」をテーマに、全国から計約500名の参加を得て、第25回火山砂防フォーラムを開催した。

各地の火山が活発化し、火山との共存が求められる中、ここに火山砂防フォーラムは以下のとおり宣言する。

- 1、阿蘇のジオパーク活動を通じて、平時から住民の参加を得て、火山について学び、阿蘇山の恵みに感謝しつつ、地質遺産と文化を後世に引き継ぎ、内外との交流と地域振興を進めよう。
- 2、火山地域の災害リスクを正しく理解し、火山噴火や豪雨による災害を防止するため、火山砂防事業を推進するとともに、有事の際に早めの避難が実行できるよう地域の取り組みを強化しよう。
- 3、火山の防災対策強化と地域振興の両立のため、火山砂防フォーラムの委員は、地元住民の声を代表し、火山地域の実態を全国に発信する場を創設し、実現・実践しよう。

平成27年10月29日、

火山砂防フォーラム委員会、熊本県阿蘇市にて。

ということの宣言を今、ご披露させていただきました。ご賛同いただければ拍手をもってお願いしたいと思っております。

どうもありがとうございました。この宣言に従いまして、今からまた発信をしていきたいと思っております。本当にありがとうございました。



【古川】 佐藤市長、ありがとうございました。こちら、「2015 火山砂防フォーラム 阿蘇宣言」として、これから全国に発信してまいります。

会場の皆さま、本日は長時間にわたり、ご清聴いただきまして誠にありがとうございました。以上をもちまして、2015火山砂防フォーラムを終了いたします。